

平成28年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第34回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は107人。面接審査により、3年生24人・2年生18人・合計42人（19校）を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月10日 10:00～11:15

(3) 派遣

①アメリカ班

期 間：7月26日～8月5日 11日間

訪 問 先：サクラメント、ロサンゼルスほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子6人、女子10人）

団 長 上 岡 孝（椿中学校 校長）

引率教師 吉 見 香奈子（雄 郡小学校 教諭）

〃 濱 田 眞基子（愛媛大学教育学部附属中学校 教諭）

協会職員 田 中 早 苗

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、サター砦等の見学
- ・コロマ金鉱での発掘体験
- ・Jelly Belly 工場、鉄道博物館見学
- ・現地姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【ロサンゼルスほか】

- ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校訪問およびサンディエゴ ミッドウェイ航空母艦博物館見学を通して地元高校生と交流
- ・カリフォルニアサイエンスセンター、全米日系人博物館見学
ほか

②ドイツ班

期 間：7月21日～7月31日 11日間

訪 問 先：フライブルク、ジュネーブほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子6人、女子10人）

団 長 玉 川 徹（雄新中学校 校長）

引率教師 宮 内 京 子（北条北中学校 教諭）

〃 相 原 彩 乃（新田青雲中等教育学校 教諭）

協会職員 向 井 かおり

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、サッカースタジアムでの環境学習
- ・フライブルク大学見学、ドイツ語学校授業体験
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会 ほか

【ジュネーブほか】

- ・国際連合ヨーロッパ本部、国際赤十字博物館見学
- ・バレンベルク野外博物館で木彫り体験
- ・世界遺産の街ベルン、オリンピック博物館見学 ほか

③韓国班

期 間：7月22日～7月28日 7日間

訪 問 先：平澤、ソウル

派 遣 団：中 学 生 10人（男子3人、女子7人）

引率教師 豊 島 政 一（小野中学校 教諭）

〃 毛 利 美 紀（みどり小学校 教諭）

協会職員 松 本 美 貴

活動内容：【平澤】「韓日青少年国際キャンプ」として、平澤市のほか、日本から秋田県、青森市、松山市の3都市の青少年が交流した。

- ・韓国文化体験
- ・合同スポーツ大会
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流 ほか

【ソウル】

- ・ソウル英語村スユキャンプで英語体験
- ・KBS放送局、世界遺産昌徳宮、青瓦台資料館見学 ほか

(4) 報告会

日 時：8月20日 13:30～15:30

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独韓3班による報告

28年度チャレンジプロジェクト登録生徒55人が参加

(5) 報告書の発行

報 告 書：A3・10頁 1,800部（市内中学校全クラスへ枚数を配布）

(6) 28年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やメールニュース・ホームページへの掲載等で広報し、4月17日に説明会を開催。広報まつやま等も活用し、登録生徒を募集。
- ・中学生に相応しい国際交流・体験活動を随時実施。31事業に延べ712人が参加。119人が29年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

(1) 平澤市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・韓国班の現地でパートナーとなった平澤市の中学生が、松山を訪問し、日本文化を体験するほか、松山市のパートナーの家庭でホームステイ等の交流を行った。

期 間：8月5日～8月9日 5日間

参 加 者：平澤市中学生10人・引率者4人

交流内容：料理づくり体験（指導：松山・平澤友好協会）

松山市考古館「銅鏡づくり、火おこし体験」

ヤマキ工場見学

マイントピア別子見学体験

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) フライブルク市民訪問団受け入れ

フライブルク市の公募により集まった市民親善訪問団16人を受け入れ、文化・観光の魅力を紹介するとともに、交流団体や市民との直接交流の機会を作り、さらなる親睦を深めた。

・期 間：4月1日～4日

・内 容：松山城・道後温泉観光

松山春まつり 市民パレード参加

日本文化体験（指導：松山市シルバー人材センターほか）

松山フライブルク会による歓迎交流会

大洲ツアー

(2) 平澤市代表団受入れ

コン・ジェグアン市長をはじめとする代表団10名が、松山まつりに参加のため来松。野球拳おどりに参加したほか、道後アートの視察等も行い松山の魅力を紹介し友好都市交流の促進を図った。

・期 間：8月12日～14日

・内 容：松山市長表敬訪問

野球拳おどり参加（松山市役所連）

道後アート視察 ほか

(3) 姉妹都市提携35周年記念サクラメント市代表団受入れ

姉妹都市提携35周年を機にサクラメント市副市長をはじめとする行政関係者・交流市民団体・グラント高校生徒ら48人の代表団が来松し、記念行事を実施。滞在期間中には、交流関係者との協議や、市民との直接交流の機会を設け、さらなる姉妹都市交流の促進を図った。

- ・ 期 間：10月14日～17日
- ・ 内 容：松山市長表敬訪問、記念植樹
みんなの生活展 参加
学校交流（松山商業高校とグラント高校生徒）
和気小学校とオーチャード小学校の姉妹校調印式
内子観光 ほか

(4) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動する古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、生徒を対象とした交流事業を実施した。

- ・ 内 容：① 11月8日 松山市立怒和小学校
全校児童8人と津和地小学校からも全校児童2人が参加
ハーブ演奏・生徒との合同演奏
- ② 11月9日 松山市立雄郡小学校
6年生98人が参加 ハーブ演奏・講話
- ③ 11月15日 松山市立浅海小学校
全校児童25人 ハーブ演奏・講話
- ④ 11月16日 松山市立立岩小学校
全校児童20人 ハーブ演奏・講話

(5) 愛媛マラソン平澤市選手団

第55回愛媛マラソンに参加のため、平澤市関係者とランナー7名の合計9名が来松。平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流となり、ボランティアガイドによる観光案内も実施した。

- ・ 期 間：2月10日～13日
- ・ 内 容：愛媛マラソンへの選手7人の参加、前夜祭参加
松山城観光 ほか

(6) フライブルク市環境保護局長受入れ

フライブルク市環境保護局長 Dr. クラウス フォン ツァーン氏が来松し、松山市・愛媛大学・環境モデル都市まつやま推進協議会による「地域主導による地球温暖化対策フォーラム」で講演したほか、姉妹都市交流関係者、大学関係者との交流を行った。

- ・ 期 間：2月12日～15日
- ・ 内 容：愛媛大学で行われたフォーラムで講演
松山市内環境関連施設視察
松山城、道後温泉視察 ほか

※ その他、海外からの国際交流団体や行政視察団等の来松に際し、松山市との連携により、通訳やアテンド、市民交流のコーディネート等を行った。

4. 地球人まつり

E P I Cとの共催により、20回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を開催し、外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして参加した市民は、企画・準備から運営までを外国人市民とともに行うことで、より深い交流を行えたほか、幅広い年代層の市民参加があったことから、世代間の交流の場ともなった。

- ・日 時：1月15日 13:00～17:00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1～3F
- ・出 展：世界各国ブース 21ブース
フードコーナー 13カ国
民族衣装試着コーナー
パフォーマンス出演 14グループ
- ・ボランティア数：外国人市民36人・市民ボランティア140人
(うち、チャレンジプロジェクト登録生徒42)
- ・来 場 者：約1,500人
- ・そ の 他：2階,3階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介ブース(19団体)が出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう(品種名：ソラリス)の収穫に合わせ交流イベントを開催するとともに、収穫した果実からぶどうジュースと飴を製造し、「地球人まつり」「国際交流サロン」等のイベントで配布・活用した。

○ぶどうウ狩りイベント

日時：8月10日、参加者：外国人市民17人・中学生15人
内容：ブドウ収穫・えひめ飲料工場見学

- 製 造 品
 - ・ぶどうジュース 330本(250ml瓶)
 - ・ぶどう飴 600袋(10個入り)

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とした「今すぐ日本語〜くらしの情報広場〜」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)	
				前期	後期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00~14:30	30	40
	初級Ⅱ	木曜	13:00~14:30	30	28
	初級Ⅲ	木曜	14:45~16:15	30	29
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30~20:00	30	7
	初級Ⅱ	火曜	18:30~20:00	30	15
週末	今すぐ日本語	原則土曜	13:30~15:30	20	34

- 託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。
 - ・利用者：前期2人(子ども2人)、後期11人(子ども13人)
- 「今すぐ日本語」では、外国人オタスケマン登録者にサポーターとして参加してもらい、生活情報提供等を行った。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シェア・ライフ・デザイン	市内各戸に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。月平均30回を超える収集や提供を行った。主な提供品は洗濯機や冷蔵庫、自転車など。またFacebook「留学生の生活支援倉庫シリキリヤ」で活動の周知を行い、理解を促進した。 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	400,000円 (852,589円)

3. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	4月22日	【野生の王国 ゴロンゴザ】 モザンビーク出身3名の講師による、国の紹介の後、楽器の体験、現地で実際に使うというビニール袋を使って作ったボールでのサッカー体験、ダンスのワークショップなど盛りだくさんの内容で、モザンビークに対する理解を深めた	31
2	6月25日	【南の国からアロ〜ハ】 県協会の協力で、ハワイからのインターン生2名を講師に、ハワイを知るサロンを開催。クイズも交えながらの生活の紹介や、レイを作るワークショップで文化を知り、インターン生との交流も深めた	25
3	9月3日	【ナチュラルー ネパール】 ネパール出身の講師2名から、ネパールの自然・人々の暮らしや学校生活などが紹介されたほか、民族衣装の試着、民族音楽でダンスを体験など盛りだくさんの内容で、ネパールの文化に親しんだ	23
4	10月22日	【!ke e: xarra ke (多様性の統一)】 多様な部族や文化・言語からなる南アフリカという国を知るサロン。南アフリカ出身の講師による多彩な文化の紹介や、ゲームやダンスのワークショップで交流しながら、理解を深めた	36
5	1月29日	【Matsuyama International Cooking】 《コムズフェスティバル事業として開催》 世界3カ国(バングラデシュ・中国・イギリス)の料理を紹介。実際に講師とともに調理・試食し、生活や食文化についてのお話も聞くなど、様々な国の文化に触れる機会となった	29
6	3月18日	【Mari main! Kita main-main】 マレーシア出身の講師3名が、マレーシアの文化、観光地などを紹介。民族衣装の試着やゲームなど、体験を通してマレーシアへの理解を深めた	12
合 計			156

4. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

職員による出前講座や職場体験を開催したほか、学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣するなど、「国際理解教育」への支援を行った。また、今年度は

愛媛県立松山東高校 SGH プログラム「愛媛の国際化に取り組む」（1年生対象）で、外国人住民を対象としたイベントを企画・広報・運営する生徒たちに協力し共催事業として実施した。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	—	5回（37人）	—
② 学校等への外国人派遣	6回（28人）	5回（32人）	1回（1人）
③ 外国人住民への情報提供事業	—	—	1回（27人）

※延べ人数、①は参加生徒数 ②は派遣した外国人数 ③は SGH プログラムとの共催事業で参加外国人数

（2）コスモリアン教室

JICA四国・松山ユネスコ協会などの民間国際団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月15日	<p>【「世界一大きな授業」で考える私たちにもできること】</p> <p>《松山ユネスコ協会との連携》</p> <p>‘非識字体験’を通して勉強することの大切さを体感し、世界の教育の現状と課題に対して、どんなことができるかをグループで話し合った。自分たちに何ができるかを考えるよいきっかけとなった</p>	29
2	6月12日	<p>【のぞいてみよう！国際協力の世界①】</p> <p>《JICA四国との連携》</p> <p>○元青年海外協力隊員体験談：マーシャル諸島</p> <p>○ワークショップ：難民について考えよう！</p> <p>「難民ってどんな人のこと？」「もし、自分が難民になったら何を持っていく？」以外にも知らない難民について学び、世界で起こっていることを身近に感じるきっかけとなった</p>	30
3	9月22日	<p>【ピースデー大運動会】</p> <p>《松山ユネスコ協会との連携》</p> <p>国連が定めた国際平和デーに合わせ、外国人と一緒に楽しむスポーツ大会を開催。色々な国の人たちとグループになって、ドッジビー、スポーツチャンバラなどをグループ対抗で実施。スポーツを通して交流を深めた</p>	20

4	10月10日	【のぞいてみよう！国際協力の世界②】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：モンゴル ○ワークショップ：コーヒーカップの向こう側 コーヒーの生産・流通・販売のしくみを通して、 生産国の現状と世界の貿易の不正を知り、消費者 として、自分たちにできることがないかを考えた	32
5	10月23日	【オソオセヨ！ピョンテク】 ≪愛媛県海外派遣帰国教師の会との連携≫ 韓国にある日本人学校で勤務していた中学校の先生 から、生活の様子や韓国の学校の様子をお話した いただいた後、韓国出身の留学生が文化・学校生活の様 子などを紹介。韓国の伝統あそびユンノリにも挑戦 した	29
6	2月25日	【世界遺産とわたしの町のたからもの】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 世界遺産をカルタやビンゴゲームで楽しく知るとと もに、その意義を学んだ。また、自分たちに身近な 宝物についても考えた	34
7	3月12日	【のぞいてみよう！国際協力の世界③】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○ワークショップ：記者になりきれ！「私とセカイ と国際協力のこと」 5名の元青年海外協力隊員に海外での経験をインタ ビューし、その結果を模造紙にまとめて発表した	30
合 計			204

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

	学 校	内 容
1	新玉小学校 3～6年生 359人	①3年生 松山在住のモザンビーク人2名との交流を通し て、言葉・楽器の演奏・カプラナ布の体験などを 行ったほか、プログラム「ちがう国でも同じこと」 を実施 ②4年生 モザンビークの食文化体験（調理・試食）や遊び 歌の体験を実施 ③5年生 モザンビークの紹介に始まり、直面している食糧 不足・環境問題について自分達にできることにつ いて、意見交換を行った ④6年生 ワークショップ「ハンガーバンケット」を通して 世界の格差を疑似体験。また、モザンビークの小 学校で役立ててもらおうためのカルタを作成した
2	宮前小学校 6年生 95人	世界の貧困や環境の問題について、具体的に学習。また、 モザンビークの小学校で活用してもらおうためのカルタを作 成し、実際に現地へ赴く人に委ねた。授業後、児童が中心と なって、支援物資や募金を集める活動も行った

(4) 外国語（英語）de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数（人）
5月29日	ロールプレイほか	中学生 26 外国人市民 6
9月25日	ドローイングゲームほか	中学生 30 外国人市民 6
12月 4日	方向クイズほか	中学生 32 外国人市民 6
合 計		中学生 88 外国人市民 18

5. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数（人）
1	4月4日	【東雲能】 東雲能実行委員会の招待により、外国人市民が伝統文化を鑑賞	8
2	5月7日 ～8日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	12
3	5月11日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を観賞	9
4	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	4
合 計			33

※ その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベントへの招待や、参加呼びかけ、ボランティア活動・祭りなど地域行事への参加もあり。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、地域の国際化の現状を理解するための入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○入門講座

- ・日 時：11月3日
- ・受講者数：26人
- ・内 容：「できることから始めよう 国際交流ボランティア」
既にボランティア活動をしている市民と、外国人住民をパネリストに迎え、活動内容や、日本・松山で生活する上で困ったことについて具体的に聞いたほか、受講者も参加してディスカッションを行った

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：11月26日
- ・受講者数：40人
- ・内 容：市内で活動する国際交流11団体が参加市民に対してガイダンスを行い、マッチングを図った

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：2月5日
- ・受講者数：中学生14人
- ・内 容：留学生生活支援倉庫「シリキリヤ」において、外国人市民とともに、倉庫の清掃・荷物整理を行った

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、ボランティア活動に必要かつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（4～9月）	後期（10～3月）
ハングル	上級	13回・登録者12人	13回・登録者10人
中国語	上級	13回・登録者13人	13回・登録者12人

英 語	平 日	15回・登録者61人	15回・登録者60人
	土曜集中	5回・登録者26人	5回・登録者23人

- ・英語集中講座は、前期「庚申庵」・後期「松山城 天守閣」が学習対象。
- ・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際、外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：119人》

	月 日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	4月17日	フライブルク芸術交流における通訳	通訳	1
2	5月29日	アメリカ人男性松山城案内	ガイド	1
3	6月 1日	フランス人記者の道後オンセナート取材の通訳	通訳	1
4	10月14日	sacrament訪問団の歓迎レセプションでのテーブル通訳	通訳	3
5	10月15日	sacrament訪問団①の松山城及び道後温泉案内	ガイド	2
6	10月16日	sacrament訪問団②の松山城及び道後温泉案内	ガイド	2
7	2月11日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者の松山城案内	ガイド	2
8	2月12日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者のサポート	通訳	3
合 計				15

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：161家庭》

	期 間	受入人数 (人)	受入 家庭	内 容
1	5月20日～22日	17	14	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
2	6月30日～ 7月4日	20	6	オーストラリア人高校生 (EIL 松山地区委員会からの依頼)
3	8月27日～ 平成29年6月	1	4	タイ人高校生 (愛媛大学附属高校からの依頼)
4	9月 3日	80	48	愛媛大学の短期留学生のホーム ビジット
5	9月9日～11日	6	6	愛媛大学のアメリカ人短期留学生

6	10月15日～ 16日	16	16	アメリカ人高校生（サクラメント・ グラントユニオン高校）
7	10月21日～ 24日	2	1	韓国人大学生 （EPICからの依頼）
8	12月16日～ 18日	6	5	愛媛大学のミャンマー人研修生
9	12月17日～ 18日	1	1	フライブルク大学 生物学者
10	1月7日～9日	12	7	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
11	3月6日～18日	1	1	アルゼンチン人旅行者
12	3月11日～12日	1	1	ネパール人留学生
13	3月～ 平成30年2月	1	2	フィンランド人高校生 （AFS 日本協会からの依頼）
合 計		164	112	

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族と
なってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない
自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・交流実績：春季（6月～9月）：4カ国13人の留学生が13家庭と交流
秋季（11月～2月）：8カ国25人の留学生が22家庭と交流
- ・登録家庭：182家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活
サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

《オタスケマン登録者数：医療141人・日常329人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	7月26日	産科への付き添い	1
2	12月17日	婦人科への付き添い	1

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	5月14日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供（5回）	6
2	10月1日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供（4回）	4
3	11月 2日	履歴書作成のお手伝い	1
4	11月15日	買い物サポート	1
5	2月17日	中学校における外国人生徒の学校生活支援員	1
6	3月30日	小学校の外国人児童の保護者と学校の面談に際してのお手伝い	1

(3) 愛媛大学留学生来日手続き…市役所・銀行・大学での書類記入サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	3月23日	市役所での手続き同行サポート	2

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

	月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
1	4月 15日 ～ 4月 18日	交付先：地域消防防災ボランティアグループ 事業名：台湾・台北市との交流事業 内 容：台北市の防災団体との交流を通して現地の防災の実情を学ぶとともに、松山市の防災についても紹介し、双方の防災意識と知識の向上を図った。また防災施設の見学も実施した。 主な経費：渡航費、通訳謝礼など	200,000円 (1,664,000円)
2	7月29日～ 8月10日	交付先：ボーイスカウト松山地区協議会 事業名：第16回姉妹都市交流ボーイスカウト松山地区サクラメント派遣事業 内 容：内 容：スカウト10人、指導者3人でサクラメント市を訪問。同市のボーイスカウトとのキャンプやホームステイによる交流を行うとともに、市長表敬やマツヤマ小学校訪問も行い、交流を深めた。 主な経費：渡航費	200,000円 (6,004,338円)

3	9月13日～ 9月19日	<p>交付先：愛媛大学附属高等学校 事業名：JFK 高との交流事業 内 容：生徒8人、引率者2人がサクラメント市を訪問。JFK 高校とマクラッチー高校で授業に参加するなどして交流したほか、滞在中はホームステイを通して、アメリカの家庭生活にも触れ、理解を深めた。 主な経費：渡航費</p>	200,000 円 (1,179,138 円)
4	10月14日 ～ 10月17日	<p>交付先：サクラメント松山姉妹都市協会 事業名：オーチャード小学校・和気小学校姉妹校提携及びグラントユニオン・松山商業高等学校姉妹校提携10周年記念事業 内 容：「みんなの生活展」会場でグラントユニオン高ドラムラインと松山商業高吹奏楽部の合同演奏を行ったほか、学校での交流活動も実施。オーチャード小学校と和気小学校の姉妹校提携調印も成り、今後の交流について情報や意見の交換も行われた。 主な経費：講師謝礼、楽器輸送費など</p>	200,000 円 (485,638 円)
5	11月9日～ 11月14日	<p>交付先：愛媛県立松山東高等学校 事業名：松山東高校SGH事業 海外フィールドワーク（ドイツ・フライブルク市） 内 容：プログラムに参加の生徒ら6人が、環境政策先進地であるフライブルク市を訪問。環境対策について、行政・学校・市民生活等広い分野の視察学習を実施した 主な経費：渡航費</p>	200,000 円 (1,581,644 円)

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	7月30日～ 9月19日	特別展「ブータン～しあわせに生きるためのヒント～」	(株)愛媛新聞社
2	8月6日～ 7日	全国虹の大会 性的マイノリティの理解を進める愛媛大会	レインボープライド 愛媛
3	10月8日	第33回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・ 高等学校
4	10月15日	第23回カルフル杯英語弁論大会	松山大学 E.S.S 「英語部」
5	11月5日～ 6日	第17回中国・四国エスペラント大会	愛媛エスペラント会
6	12月18日	東雲インターナショナル防災	えひめグローバル ネットワーク
7	1月7日～ 2月12日	ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡	(株)テレビ愛媛

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's Going On?」

毎月約650部発行（公共施設・駅・空港・大学など43か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 1,678件・外国人市民 752件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：32件

(4) ラジオ・テレビによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	5月21日	中学生チャレンジプロジェクト登録案内、国際交流サロン「ハワイ」の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
2	10月22日	国際交流市民ボランティア入門講座の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
3	1月 7日	地球人まつり 2017 の案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」
4	3月11日	ボランティア語学講座・国際交流サロンの案内	ラジオ広報番組「みんなの松山」

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・ 設置台数 10台
- ・ 料 金 無料
- ・ 貸出回数 50回

2. 外国人観光客誘致事業への協力

愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合の「外国人受け入れメニュー開発事業」の実施にともない、在住外国人へのアンケート調査に協力。当協会事業参加者を中心に、回答を得た。

V. 評議員会・理事会の実績等

平成28年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日時：平成28年6月3日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成27年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

出席者：評議員3人（欠席1人）、理事2人、監事2人

○第2回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

出席等：決議事項について、評議員4人全員の書面による同意の意思表示を得た7月5日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第3回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項に対し、評議員4人全員の書面による同意の意思表示を得た1月18日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催日時：平成28年5月19日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター3階第2会議室

決議事項：平成27年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

平成28年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事7人、監事1人（欠席1人）

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事の選任

出席等：決議事項について、理事6人全員（欠員1人）の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た6月28日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の改正

公益財団法人松山国際交流協会就業規則の改正

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た12月15日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事1人全員（欠員1人）から書面により異議がないことの意味表示を得た1月17日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第5回理事会

開催日時：平成29年3月22日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成29年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事7人、監事（欠席2人）

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	5月7、8日に開催した「まつやま中学生海外派遣事業」派遣生選考のための面接審査員及び6月19日に実施した同事業事前研修の講師	29,000円